

シーサイドはだしマラソン全国大会 「第30回記念大会」の砂浜に全国から1368人が集合!



↑(中央)選手とスタッフのTシャツには、「30thはだしマラソン」の文字と、ゼッケンを付けたクジラやカツオが!

5月3日、入野の浜で「第30回高知大方シーサイドはだしマラソン全国大会」を開催しました。高知県内1074人のほか、北海道から九州まで19都道府県から0〜93歳の1368人が出場。参加者数は年々増加し、今年は昨年より220人増えて過去最多を更新しました。

開会式では、第1回大会より30連続年出場を果たした益田佳枝さん(高知市)が選手宣誓。恒例のエアロビクスで準備体操したあと、砂浜へ移動し、午前10時30分にスタートしました。

今回は、ゲストラランナーに谷川真理さんと岡本治子さんをお迎えしました。終盤には雨が降り気温が下がりましたが、選手たちは景色や砂の感触を楽しみながら走り、笑顔でゴールしていました。

昼食は、黒潮町婦人会がお寿司をかきせ川地域づくり協議会が豚汁を用意。雨で体が冷えた選手たちを、温かい料理でもてなしました。

各部門入賞者

▼親子ペア(4km)

- ① 有光 浩勇太(四万十市) 17分28秒
- ② 山本 仁・善太(高知市) 17分30秒
- ③ 福家 築拓(香川県) 17分53秒

▼夫婦ペア(4km)

- ① 濱田直樹・三貴(香川県) 18分40秒
- ② 古津菜々香・谷口浩平(香川県) 19分59秒
- ③ 西應和伸・みのり(香川県) 20分27秒

▼女子4km

- ① 甲斐早苗(徳島県) 16分42秒
- ② 佐竹一美(高知市) 17分05秒
- ③ 太田芳子(須崎市) 17分36秒

▼女子6km

- ① 和氣千夏(四万十市) 27分59秒
- ② 久保百合(高知市) 29分16秒
- ③ 岡村里沙(佐川町) 29分30秒

▼男子4km

- ① 吉村勝己(須崎市) 14分51秒
- ② 山本世志男(南国市) 15分43秒
- ③ 渡辺誠毅(宿毛市) 15分48秒

▼男子6km

- ① 森澤安倫(四万十町) 23分13秒
- ② 尾本怜児(大阪府) 23分24秒
- ③ 竹内 僚(本山町) 25分00秒

▼特別賞

- 5年連続 53人
- 15年連続 8人
- 30年連続 4人
- 10年連続 21人
- 20年連続 2人



↑大会開催数と同じ30年連続出場の4人の中の1人、選手宣誓を行った益田佳枝さん。この日も軽やかに完走！



↑Tシャツをデザインした光の切り絵作家・酒井敦美さん(右)。Tボラ10年目でマラソンにも参加の佐抜慎一さんと。



↑3人そろって10年連続出場の表彰を受けた曾根健介さんご一家。今後も15年・20年を目指してご参加ください！

30周年特別企画

①市民ランナー・谷川真理さん ゲストで大会に参加



前日に記念講

演「忍耐は苦しい、けれどもその実は甘い」を開催。実体験に基づいた内容で、日々の健康増進にも役立つお話でした。

大会当日は、一緒に来町した岡本治子さんとともにゲストランナーとして大会に参加。走り終えた谷川さんは「とても楽しくて、6kmを2回も走ってしまいました。黒潮町は海も美しく、自然が豊か。この大会に何年も出場する方の気持ちの方が分かります」と話していました。

②光の切り絵・酒井敦美さん Tシャツ・バッグをデザイン

参加賞のTシャツと30回記念バッグのデザインを、今年、黒潮町でも光の切り絵展を開催している光の切り絵作家・酒井敦美さんに依頼しました。

Tシャツの背中には砂浜美術館のニタリ館長が右肩上がりに微笑むイラストを、左胸には足型のイ

ラストで家族を表現したデザインをプリント。Tシャツ、バッグとも、参加者に好評でした。

③ランナーの走る波打ち際に はだしマラソンTシャツ展

今年は、砂浜美術館との連携企画として、歴代のはだしマラソン大会の写真をプリントしたTシャツ100枚を、Tシャツアート展会場の波打ち際に展示しました。30年の歴史を写したTシャツは、5月2日から6日間、入野の砂浜でひらひらしました。

なかでも、大会を始めたころの「完走証」の写真や、「歓迎はだしマラソン」と題した砂像の写真は、はだしマラソン大会の長い歴史を感じさせるものでした。

